

学会だより

☆名簿発行について

前回は昭和 49 年末現在の名簿を発行しましたが、その後入退会、住所変更などで大幅に内容が変更されましたので今回昭和 51 年末現在の名簿を発行することになりました。今回は往復ハガキによる調査はせず、学会にある住所カードをもとに作成しますので、前回名簿以後、住所、所属、電話番号等の変更があった人でまだ学会に届けていない人は 12 月 20 日までに必ず御連絡下さるようお願い致します。

☆科学研究費補助金配分審査委員候補者

日本学術会議研究費委員会より標記の件について推薦の依頼がありましたので、本学会として評議員の書面投票により下記の方々を推薦しました。

第 1 段審査委員候補者：弓 滋，北村正利

文部省はこの推薦にもとづいて第 1 段審査委員 1 名を依嘱します。なお第 1 段審査委員には守山史生，加藤正二，第 2 段審査委員には海野和三郎の各氏が留任となっております。

☆訂正とお詫び

10月号 307 頁の秋季年会プログラム中、講演番号 44 番の発表者の中に河野宣之氏の名前が校正ミスのため落ちておりましたので次のように訂正すると共にお詫びいたします。

44. 高橋富士信，川尻轟大，尾嶋武之，河野宣之，吉野泰造(電波研鹿島)：太陽コロナ磁場によるかに星雲偏波のファラデー回転 (IV)

花山天文台の所在地の名称が変更：

10月 1 日より下記の通り変更になります。

〒 607 京都市山科区北花山高峰町
京都大学・理学部
花山天文台 Tele (075)-581-1235

雑報

改暦記念日

11月 9 日が近づくと改暦記念日という言葉を目にする

る。記念日を設けて誰かが何かの行事を行っているのかどうかそれは私は知らない。が、新聞社などから問い合わせがあったり、当日記などの行事の欄に 11 月 9 日改暦記念日と書かれていたりするのは事実である。

明治 5 年 11 月 9 日に、12 月 3 日を以て明治 6 年 1 月 1 日とするという布告がでて太陽暦が施行されたことはご存じのとおりである。明治 5 年 11 月 9 日は太陽暦に直すと 1872 年 12 月 9 日で、日は同じで 1 ケ月ずれる。

ここでほかの例を考えて見よう。赤穂浪士の討入は元禄 15 年 12 月 14 日で太陽暦では 1703 年 1 月 30 日に当る。1 月 30 日では講談の「極月なかばの 14 日……」という調子と合わないで拒絶反応があるのであろう、12 月のうちにいろいろ行事を合わせているようである。しかし太陽暦の 12 月なかばに東京であの晩のように雪が積ることはない。旧暦の日付そのままにすると 3 月 3 日のように桃の咲かない桃の節句になるのと同じで季節とは合わなくなる。とかくの問題のある日を例にして恐縮であるが、2 月 11 日という祝日は日本書紀神武の巻で正月 1 日に即位したという記述をグレゴリオ暦に直したものであるし、時の記念日も天智天皇 10 年 4 月 25 日はじめて時を知らせたという記事をグレゴリオ暦にあてはめ 6 月 10 日と定めたものである。改暦記念日というのなら 12 月 9 日がしかるべしというゆえんである。

(内田正男)

◇ 11 月の天文暦 ◇

日 時	記 事
6 24	月 最遠
7 8	望
16	立 冬 (太陽黄経 225°)
18	水 星 外合
15 8	下 弦
18 17	木 星 衝
21 10	月 最近
22 0	朔
13	大 雪 (太陽黄経 255°)
25 11	火 星 合
28 16	土 星 留
22	上 弦

1976 年 8 月の太陽黒点 (g, f) (東京天文台)

1	1,	3	6	1,	16	11	2,	18	16	1,	10	21	2,	5	26	—,	—	
2	2,	5	7	—,	—	12	3,	17	17	1,	18	22	1,	4	27	1,	1	
3	—,	—	8	1,	8	13	3,	20	18	1,	36	23	1,	9	28	0,	0	
4	2,	5	9	3,	11	14	2,	7	19	2,	37	24	1,	5	29	1,	2	
5	1,	10	10	3,	17	15	—,	—	20	3,	23	25	—,	—	30	—,	—	
(相対数月平均値: 20.3)																31	—,	—

昭和 51 年 10 月 20 日 発 行 人 〒181 東京都三鷹市東京天文台内 社団法人 日本天文学会
印刷発行 印 刷 所 〒112 東京都文京区水道 2-7-5 啓文堂 松本印刷
定価 300 円 発 行 所 〒181 東京都三鷹市東京天文台内 社団法人 日本天文学会
電話 武蔵野 31局 (0422-31) 1359 振替口座 東京 6-13595